

SDGsへの取り組み -Actions on SDGs-

最先端の技術で人とICTをつなげる製品やソリューション・サービスの提供を通じてSDGsの達成に貢献していきます。

「環境行動計画」における取り組み

「富士通フロンテックグループ第9期環境行動計画」（2019～2020年度）では、活動項目の1つとして「ICTサービスを通じたSDGsの達成への貢献」を掲げ、3つの大テーマおよび6つの小テーマからなる実施計画を策定し、取り組んできました。2020年度は、SDGs貢献ソリューションの開発・提供やステークホルダーへのグローバルな情報発信を中心に活動を展開し、計画33件以上に対し実績68件となり、目標を達成できました。

「第10期環境行動計画」（2021～2022年度）では、これまで積み上げてきた成果を土台に取り組みを発展させ、引き続きSDGsの達成に貢献していきます。

[SDGsへの取り組み計画]

① SDGsに関する理解の向上	
1) SDGsに関する社内啓発	e-ラーニングの受講やイントラネットなどの情報発信を通じて社内啓発を行い、全社的にSDGsに関する理解を向上させる。
2) SDGsに精通した人材の育成	社内勉強会の開催、社外セミナーの聴講などによるSDGsの深い理解を通じ、SDGsに精通した人材を育成・確保し、全社的な推進体制の基盤を構築する。
② お客様とのコミュニケーション	
3) SDGs貢献ソリューションの開発	従来の環境貢献ソリューション認定制度をベースに、SDGsへの貢献要素を付加（17のゴールと関連づけ）したSDGs貢献ソリューションを開発する。
4) SDGs貢献ソリューションの提案・受注	お客様との商談において、提案書を用いてSDGs貢献ソリューション導入によるSDGsへの貢献要素をPRし、受注獲得につなげる。
5) SDGsへの取り組みの情報発信	サステナビリティサイト、環境報告書などを通じて、SDGsへの取り組みをステークホルダーへ積極的に発信する。
③ ソリューションのSDGs事例化、発信	
6) SDGs貢献ソリューション導入事例の発信	SDGs貢献ソリューションの導入事例を発信・紹介する。

2020年度の主な実績

SDGsに関する社内啓発、人材の育成

SDGsへの取り組みを推進・拡大するには、社内への理解の浸透とコアとなる人材の育成が不可欠なことから、eラーニングの実施をはじめ講習への参加など、従業員一人ひとりがSDGsの重要性を認識し行動できるよう、多数の施策を計画・実施しました。

[実施した主な施策]

項	内容	対象
1	eラーニング「SDGsと富士通グループの環境経営」	全従業員
2	人権週間イベント「SDGsフォトコンテスト」	全従業員
3	SDGs関連オンライン講習の受講	コア人材
4	SDGsネックストラップの配付	コア人材
5	サーキュラーエコノミー関連ビジネスの展開に関する検討会	関連部門

SDGs貢献ソリューションの開発・提供

2019年度にSDGs貢献ソリューションのスキームを設計・スタートし、同ソリューションの創出に取り組んだ結果、2020年度までの2年間で合計16件を開発・提供することができました。また、2020年度には、当社グループの公式Webサイト上に、SDGs貢献ソリューションの概要ページと事例紹介ページをそれぞれ開設しました。

（実績の詳細は、P13「ソリューション・サービスビジネス」を参照。）

外部からの評価

2019年より日本経済新聞社が、全国の上場企業と有力非上場企業を対象として実施している「日経SDGs経営調査2020」（第2回）において、当社グループの取り組みが総合的に評価を受け、2年連続で3星に認定されました。調査では、「SDGs戦略・経済価値」「社会価値」「環境価値」「ガバナンス」の4つの観点から「SDGs経営」に積極的に取り組み、企業価値向上につなげている先進企業を評価します。

